

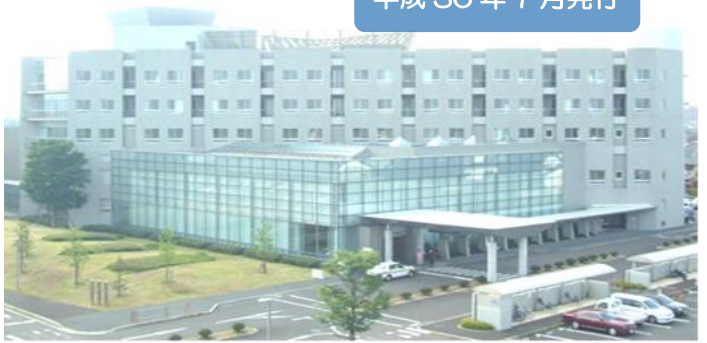


JCHO 仙台南病院

登録医ニュース

絆きずな

平成 30 年 7 月発行



登録医療機関 (6月現在) 170 施設 194 名の先生方にご登録いただいております。

(病院理念) 本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

(病院基本方針) 急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。

地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。

個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。

目次

院長挨拶	1
診療科紹介・新任医師紹介	2
骨粗鬆症ってなんだろう?	3
NST 勉強会のお知らせ	
睡眠時無呼吸症候群のお知らせ	4
ロコモレイル外来のお知らせ・地域連携室長より	



ご挨拶

院長 朝倉 徹

登録医の先生方には日ごろから当院が大変お世話になっております。

さて安倍政権は森友問題、加計学園問題で揺れておりますが、解決の糸口も見えずひたすら国会の駆け引きに終始している印象は拭えません。いずれの問題も安倍長期政権のもたらした結果であると巷間言われております。加計学園問題は 50 年以上も認可されていなかった獣医学部の新設を国家戦略特区と絡めて認めた問題です。この認可が首相周辺の意思でなされたとなれば、政権の意思決定が政党や国会の議論を待たずに行われているということになります。今はやりの「忖度」の結果なのでしょうか。

翻って震災後に被災地支援に名を借りた本県の医学部新設問題が新聞報道等で騒がれ始めました。この発端であり理屈でもあった医師不足の解消に関しては東北大学はじめ各大学がすでに募集定員を増員して十分対応しているとして強く反対していましたが、医師会なども一時的に医師不足は悪化するとして反対しており、新設の可能性は少ないと思われていました。しかしふたを開けてみると首相の「鶴の一声」で約 40 年ぶりに医学部新設が認可され、最終的には東北医科薬科大学医学部が誕生しました。この時東北地方から医師の引き抜きは行わないという条件付きでしたが、結果的に教員の多くは東北大学とその関連病院からの赴任であり、仙台市内の医師不足の助長は懸念された通りとなりました。当院のような小規模病院はもっとも甚大な影響を受けることになり、この春も医師の増員はできていない状況です。また医科薬科大の学生が卒業すると臨床研修指定病院が宮城県内では不足することが予想され、すでに心配の声が上がっております。医学部新設はその後千葉成田市の国際医療福祉大でも医療特区と銘打って認可されましたが、医学部新設問題に冒頭の加計学園問題が重なって見えて仕方ないのは私だけではありませんか。

さて 4 月からの医療保険と介護保険の同時改定があり、当院でもその対応に奔走しております。地域包括ケア病棟は在宅復帰を増やすことが要求され、登録医の先生にご紹介していただいた患者様を在宅に戻す努力をさせていただきます。また当院附属老健も在宅復帰超強化型を目指して体制の整備をしているところであります。また当院は訪問看護ステーションを持っていませんが、地域の訪問看護ステーションからの依頼を受けて認定看護師の訪問指導を提供することになりました。今後も地域に信頼され、地域で完結できる医療介護体制を目指して努力する所存であります。

診療科紹介
泌尿器科

地域の先生方には、平素大変お世話になっております。

2025年問題、超高齢社会と言われておりますが、当科通院の患者様も殆どが高齢者で、加齢に伴う重症の併存症が増加しております。排尿障害の患者様でも、当科に通院の患者様全員の重要な併存症を見逃さないことを目標に他科医師とも連携して、当院全科総動員で診療しております。

最近の当科診療実績ですが、河北新報社の統計、「宮城の医療と健康 2016～2017 宮城県内 45 病院 108 の病気別、手術数+処置数ランキング」では、上部尿路疾患：26 例で県内 7 位、前立腺の悪性腫瘍：47 例で 12 位、膀胱腫瘍：11 例で 15 位、腎臓または尿路の感染症：58 例で 18 位、という成績でした。

昨年度手術数は 148 例で、外来手術が 98 例、手術部手術が 50 例でした。外来手術は、尿管ステント、腎瘻、膀胱結石等で、手術部手術は約 7 割が経尿道的前立腺切除術でした。

当院泌尿器科は、常勤医師一名のみで特別な医療機器などもございませんが、看護師をはじめスタッフ全員の多大な協力のもと診療を行っております。

手前味噌ながら、ステップの軽い優秀なスタッフが揃っておりますので、当科にはまだまだ余裕がございます。ウロかなあとと思われる症例であれば、何でもお気軽にご相談、ご紹介頂ければと存じますので、宜しくお願い申し上げます。



前列左：稲葉 康雄 外来スタッフ



新任医師紹介



かんの 菅野 あつこ
敦子

今年 4 月より赴任した菅野です。整形外科の中でも、肩関節外科と骨粗鬆症を中心に診療を行っております。肩については、外傷・非外傷問わずご紹介いただきますと幸甚です。よろしくお願いします。

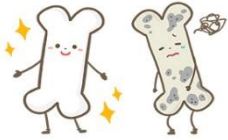
【所属学会】日本整形外科学会（専門医）、日本肩関節学会、日本骨粗鬆症学会（学会認定医）、日本骨折治療学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会



しじょう 四條 まさひろ
正浩

4 月より勤務となりました四條と申します。登録医の先生方には大変お世話になっております。ご紹介いただいた患者様について、よいご報告ができますよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【所属学会】日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本肝胆膵外科学会



骨粗鬆症ってなんだろう？

リハビリテーション科診療部長 菅野 敦子

最近、CMや新聞でも良く取り上げられる骨粗鬆症ですが、どんな症状が出るかご存じですか？
わかりやすく申しますと、「骨が折れやすい状態」です。

女性は閉経後に骨の強度が落ちるため、立った高さから尻餅をつく程度で容易に骨折します。背骨や腰については、外傷無く骨がつぶれてしまうことも多く、患者さん自身も気づかないことがほとんどです。いわゆる「いつのまにか骨折」です。身長低下や背中が丸くなるのが唯一の手がかりになります。体を動かしたときの腰痛で気づく方もいます。

高齢者では「骨折が骨折をよぶ」状態となり、ドミノ倒しのように骨折が起きます。特に高齢者の大腿骨近位部骨折（太ももの付け根の骨の骨折）については、患者さんの生活の質を大きく低下させます。退院後の介護にご家族が苦勞することも稀ではなく、死亡率の上昇も報告されております。

ところが、まだ治療を受けている骨粗鬆症の患者さんは20%程度とまだまだ低いのが日本の現状です。なぜなら、骨折した場合、骨折の加療がされても骨粗鬆症の加療がされていないことが多いからです。ここ5年程度で薬物も大きく変わりました。前任地において、QOLの改善がみられたという喜びの声が、80代～90代の方でも聞かれております。60代～70代の方でも、薬物の継続に加え、適度な運動や食事で、骨密度低下を防ぐことができます。年齢や生活環境、持病などに応じて薬を選択しております。

また、生活習慣病との関連も深く、特に糖尿病では骨密度が低下しないのに骨折をよく引き起こす骨粗鬆症もございます。腎不全や慢性閉塞性肺疾患などに伴う骨粗鬆症も報告されております。

身長が低くなったことを自覚した方、立った高さからの転倒での骨折歴があるのに骨粗鬆症が治療されていない方、是非当院整形外科へお越し下さい。



上半期 NST 勉強会のお知らせ

NST 褥瘡勉強会は、毎回好評いただいております。是非ご参加ください。

7月24日(火)

タイトル:褥瘡に配慮したポジショニング(仮)

講師:皮膚・排泄ケア認定看護師 大網さおり
株式会社パラマウント

8月28日(火)

タイトル:がん性疼痛看護について(仮)

講師:がん性疼痛看護認定看護師 菊地葉子

9月25日(火)

タイトル:口腔ケアに関して(仮)

講師:歯科衛生士 加藤みゆき

10月23日(火)

タイトル:栄養補助食品について(仮)

講師:栄養管理室 横田悠里

第144回NST 褥瘡勉強会の様子



「摂食嚥下について」と題しまして仙台赤十字病院 言語聴覚士:竹田智美さんにお話をいただき、その後、「嚥下食の試食と調理実習実演」を当院 栄養管理室:千葉裕介よりさせていただきます。





睡眠時無呼吸症候群検査のお知らせ

当院では睡眠時無呼吸症候群の検査を行なっております。通常の外来を受診していただき、入院予約し検査する流れになっております。

【診 察 日】：月曜日から金曜日（祝日を除く）

【診察受付時間】：8：00 から 11：30 まで

【担 当 医】：循環器内科医師 （紹介状なしの場合は選定療養費¥1620 がかります）

ご不明な点がございましたら、地域連携室(022-306-1740)までお問い合わせください。

ロコモフレイル外来のお知らせ

「ロコモフレイル外来」は、高齢者のお体の虚弱症状について多方面の専門家が協力・連携して行う画期的な総合診療システムです。

【診 察 日】：毎週金曜日（祝日を除く）

【診察受付時間】：13：00 から 15：00 まで

【担 当 医】：朝倉 徹 （紹介状なしの場合は選定療養費¥1620 がかります）

予約不要

※詳細につきましてはホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

TEL 022-306-1711(代)

ロコモフレイル外来受付 (内線 121)

地域連携室長よりご挨拶

向夏の候、地域の先生方、地域医療の各関係者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院の医療連携につきましてご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私は、4月から地域連携室に配属となりました。JCHOは地域医療、地域包括ケアの要として、地域の方々のニーズに応え、地域住民の生活を支えることを使命としております。柔軟な受入れと、迅速な対応に心がけながら、地域の医療機関と積極的な病診連携を推進してまいりたいと思います。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

地域連携室長 松浦ひろ子



前列中央:地域連携室長 松浦ひろ子

前列右:地域連携室(副院長兼務)遠藤公人

後列左:地域連携室(内科診療部長兼務)原 右

地域連携室スタッフ



発行 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院

仙台市太白区中田町字前沖 143 番 代表TEL022-306-1711・FAX022-306-1712

地域連携室 直通TEL022-306-1740・FAX022-306-1741